

主要コンテナ航路の荷動き動向（速報値※）

（公財）日本海事センター・企画研究部

（公財）日本海事センター・企画研究部は、PIERS（Port of Import/Export Reporting Service）の統計データを基に、『日本・アジア / 米国間のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表しております。それに加えて、欧州航路、日中航路、アジア域内航路の荷動き動向も発表しております。

主要航路の荷動きのポイント

北米航路 往航（2020年11月）1,777,752TEU（26.9%増）（2019年11月：1,400,494TEU）

・《11月単月で最高。日本発貨物は13か月振りの増加》

復航（2020年9月）532,780TEU（4.6%減）（2019年9月：558,600TEU）

- 北米往航（アジアから米国）は、前年比26.9%増で5か月連続のプラス。2020年11月の中国（塩田）-ニューヨーク間の運賃は前年比79.7%増の3,900ドル/TEUで7か月連続のプラス。
- 北米復航（米国からアジア）は、前年比4.6%減で、7か月連続のマイナス。2020年11月のニューヨーク-中国（塩田）間の運賃は前年比3.8%増の810ドル/TEUで7か月連続のプラス。

欧州航路 往航（2020年10月）1,364,273TEU（7.0%増）（2019年10月：1,274,767TEU）

・《10月の荷動き量は、統計開始以来10月単月としては最高》

復航（2020年10月）754,844TEU（1.8%減）（2019年10月：768,661TEU）

- 欧州往航（アジアから欧州）は前年比7%増で3か月連続のプラス。2020年11月の中国（塩田）-英国（フェリックストウ）間の運賃は前年比85.0%増の2090ドル/TEUで6か月連続のプラス。
- 欧州復航（欧州からアジア）は前年比1.8%減で4か月振りのマイナス。2020年11月の英国（フェリックストウ）-中国（塩田）間の運賃は前年比44.4%増の1,300ドル/TEUで12か月連続のプラス。

日中航路 往航（2020年10月）1,008,861トン（17.7%増）（2019年10月：856,804トン）

・《18年10月以来の100万トン超、年累計では0.6%増》

復航（2020年10月）1,671,517トン（4.0%減）（2019年10月：1,740,904トン）

- 日中往航（日本から中国）は、前年比17.7%増で4か月連続のプラス。金額ベースでは前年比10.8%増の7,970億円で4か月連続のプラス。2020年11月の横浜-上海間の運賃は前年比14.9%減の400ドル/TEUで7か月連続のマイナス。
- 日中復航（中国から日本）は、前年比4.0%減で6か月連続のマイナス。金額ベースでは前年比0.7%減の1兆685億円で4か月連続のマイナス。2020年11月の上海-横浜間の運賃は前年比32.8%増の810ドル/TEUで9か月連続のプラス。

アジア域内航路 （2020年10月）3,948,524 TEU（0.6%増）（2019年10月：3,924,952 TEU）

- CTS社による集計では、前年比0.6%増となる395万TEUで5か月連続のプラス。2020年11月のアジア域内コンテナ運賃指数（US\$/FEU）は前年比40.4%増の1,154ドル/FEUで4か月連続のプラス。

注1：速報値ベースでの発表のため、後に修正が加わる場合がある。

注2：日中航路荷動き量は財務省「貿易統計」をもとにした（公財）日本海事センターによるトンベースでの推計。

注3：運賃指数はDrewry, *Container Freight Rate Insight*に基づく

図 - 1 北米航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

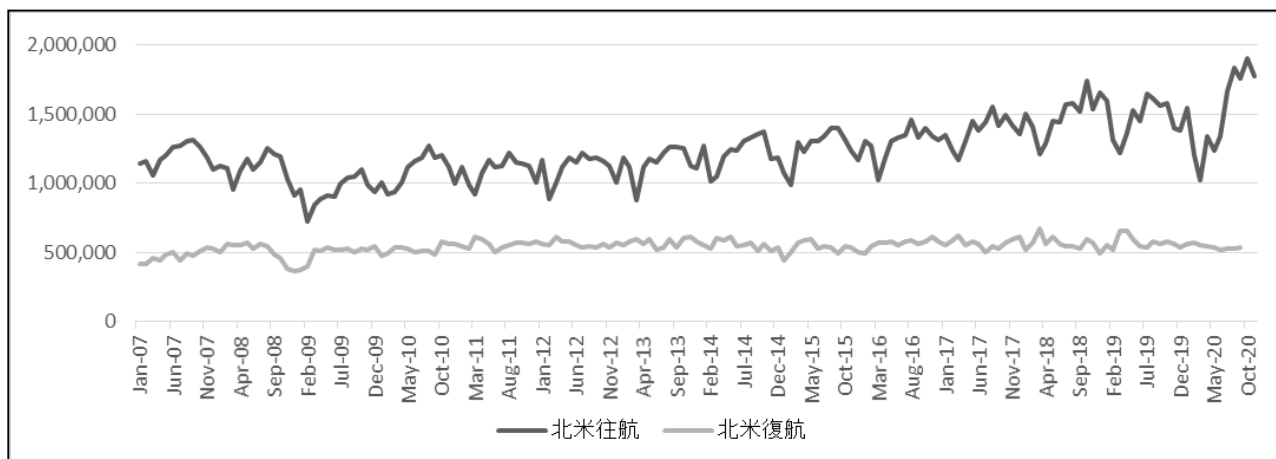


図 - 2 欧州航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

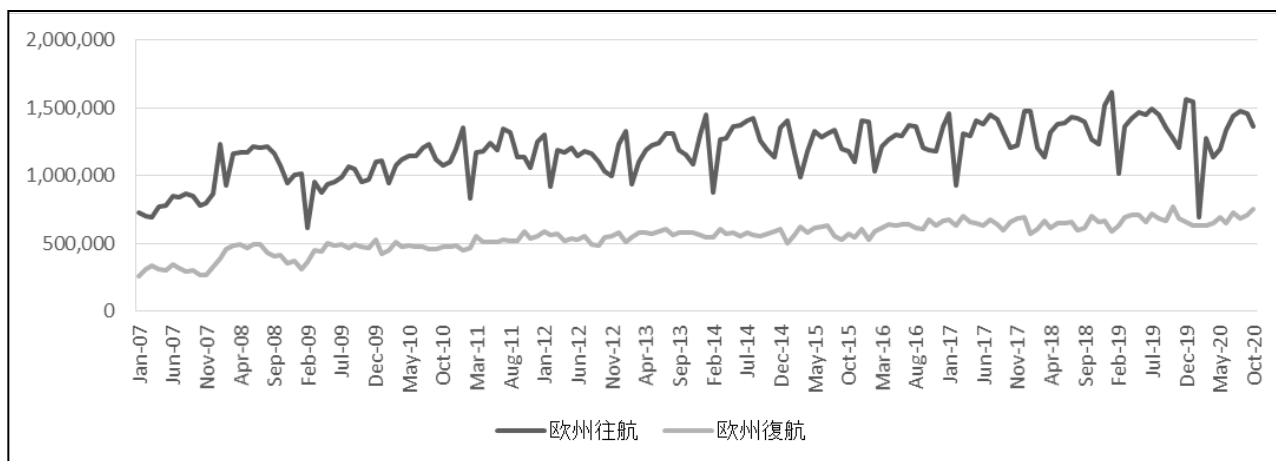


図 - 3 日中航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: トン)

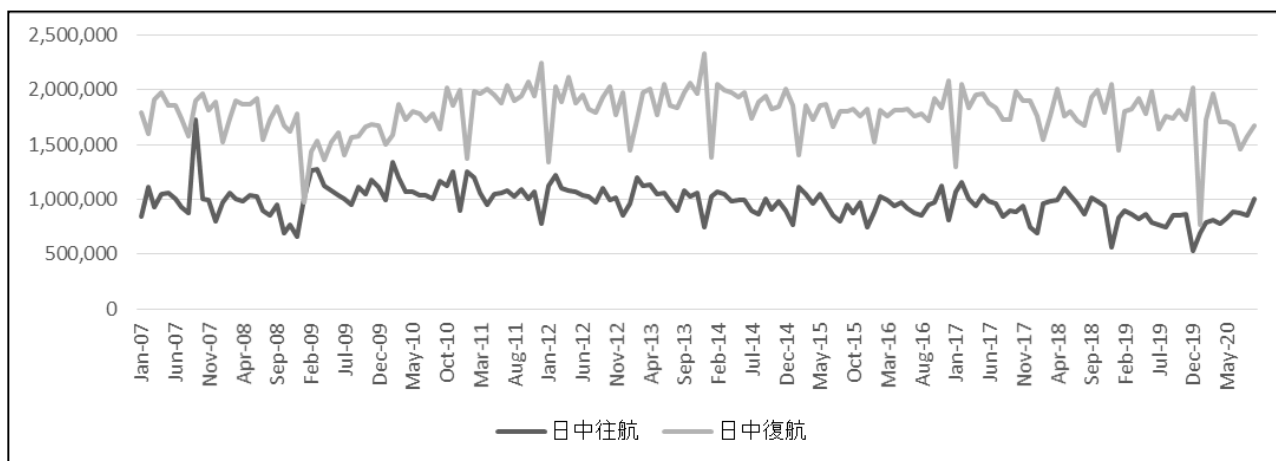


図 - 4 アジア域内航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

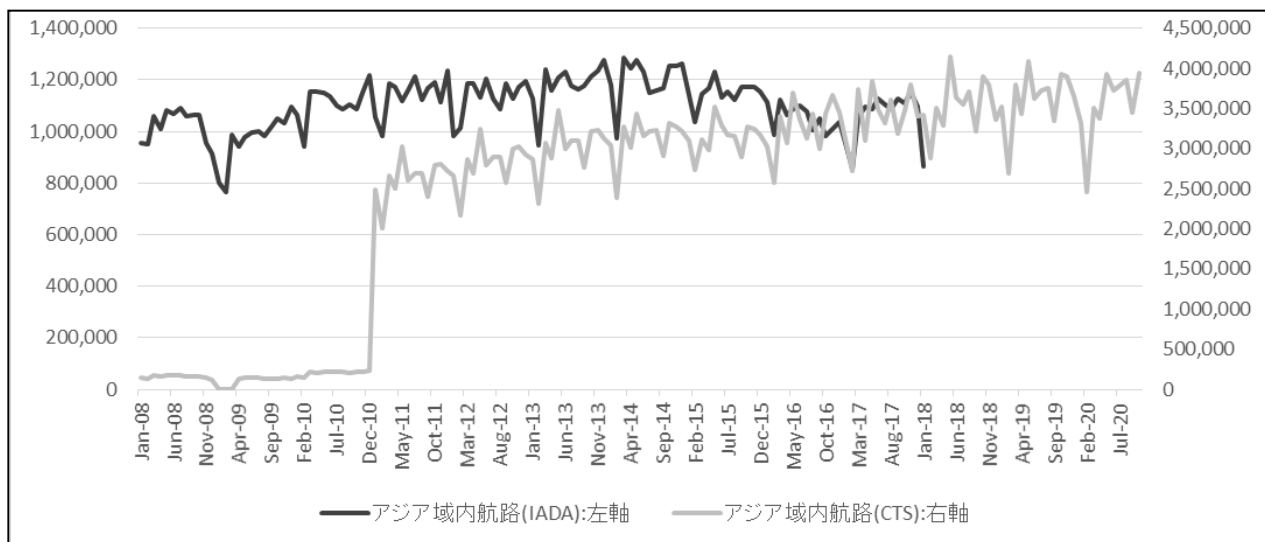


図 - 5 北米航路における運賃指数の推移 (単位: ドル/TEU)

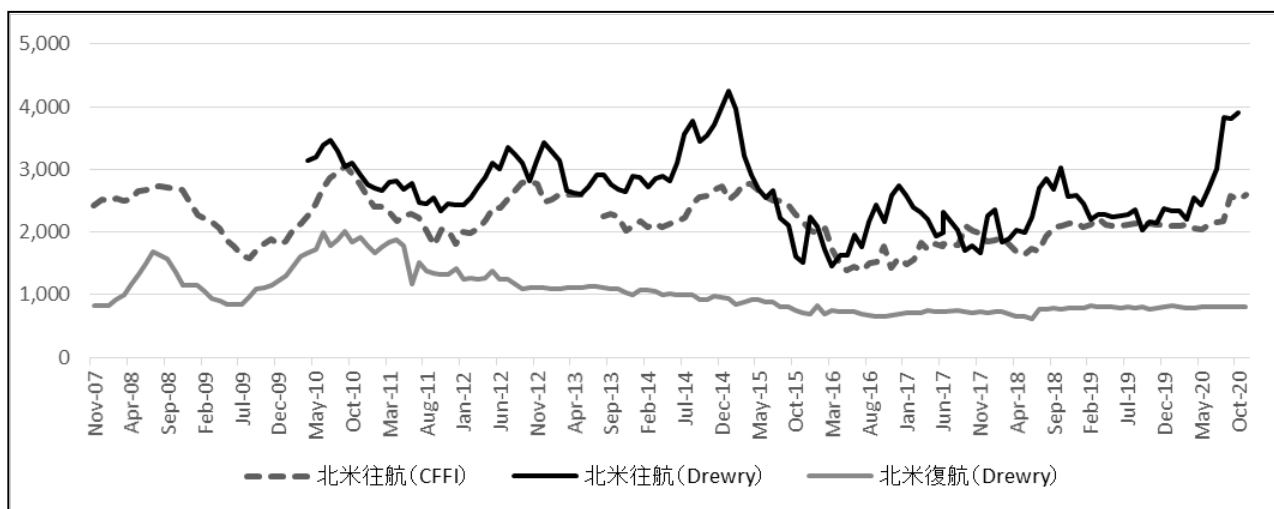


図 - 6 欧州航路における運賃指数の推移 (単位: ドル/TEU)

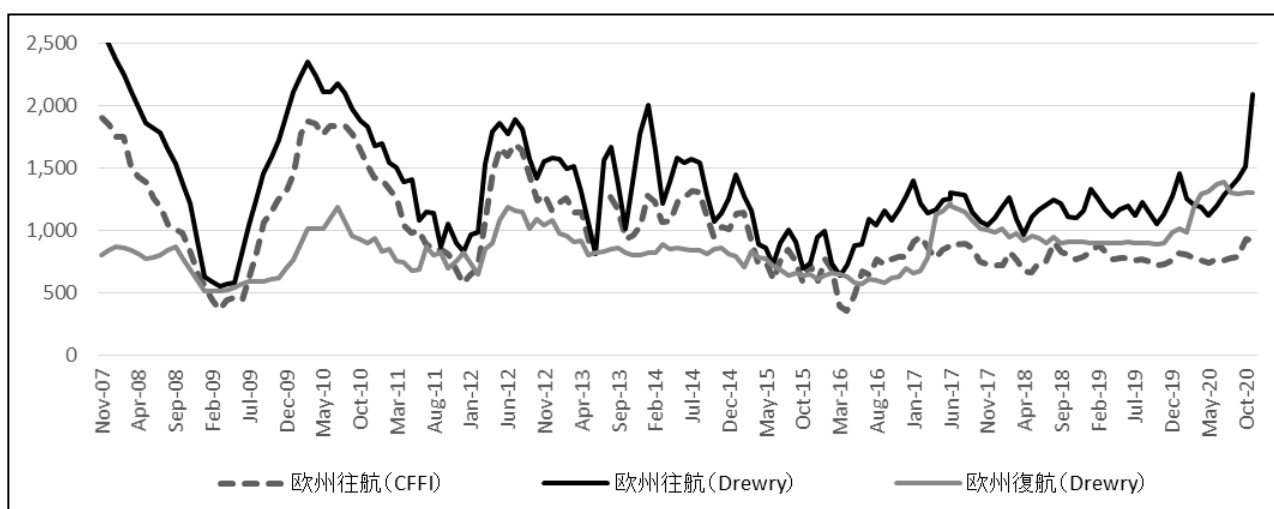
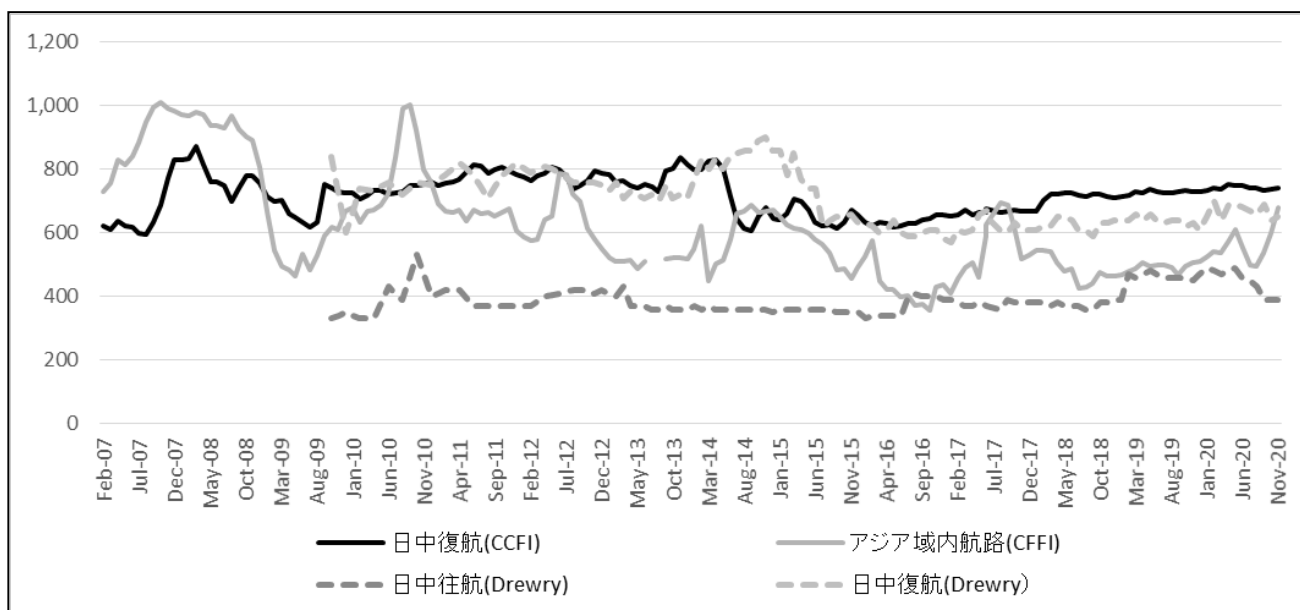


図 - 7 日中航路・アジア域内航路における運賃指数の推移 (単位 : 指数 (CCFI)、ドル/TEU (その他))



(参考) 輸送量・運賃データの出所

- 1.北米航路輸送量
 - ・ PIERS (Port Import/Export Reporting Service) データ
- 2.欧州航路輸送量
 - ・ Container Trade Statistics Ltd.
- 3.アジア域内航路輸送量
 - ・ IADA アジア域内配船主要船社取りまとめデータ、Container Trade Statistics Ltd. (CTS 社)
- 4.日中航路輸送量 (トンベース)
 - ・ (公財) 日本海事センター企画研究部 (注 : 財務省貿易統計に基づきトンベースで推計)
- 5.北米航路、欧州航路運賃指数 (往航では (CI,Drewry) と示した列、復航)
 - ・ Drewry “Container Freight Rate Insight” : 南中国 (塩田) と米国東岸 (ニューヨーク)、英国 (フェリックストウ) 間の運賃
- 6.北米航路、欧州航路運賃指数 ((CCFI) と示した列)
 - ・ 中国国際海運網ウェブサイト <http://en.shippingchina.com/scfi/index/index.html>
- 7.アジア域内航路運賃指数 (毎月)
 - ・ 中国国際海運網ウェブサイト (中国・東南アジア間航路の運賃指数)
 - ・ Drewry “Container Freight Rate Insight” : Intra-Asia Freight Rate Index(US\$/FEU)
- 8.日中航路運賃指数
 - ・ Clarkson Research “China Intelligence Monthly” (上海航運交易所発表の中国輸出コンテナ運賃指数 ((CCFI) と示した列))
 - ・ **Drewry “Container Freight Rate Insight” (中国 (上海) と東京/横浜間の運賃) : 2014 年 4 月発表の資料より変更**
- 9.BDI (バルチック海運指数)
 - ・ Clarkson Research “Shipping Intelligence Network”
- 10.円ドルレート
 - ・ FRB ウェブサイト <http://www.federalreserve.gov/econresdata/releases/statisticsdata.htm>